



# びえいフーズ農作物情報

## 2015年8月号

北海道美瑛地区は、7月中旬以降天候が持ち直し、月末から8月上旬にかけて最高気温が30℃最低気温は20℃程度の状況です。適度な降雨もあり、作柄は回復傾向ですが、全般的に前年に比べ生育が遅れています。集中豪雨による影響も出ています。



(左)11日早朝と12日午後の、滝のような激しい風雨のため、倒伏被害が出ている。天候が回復し収穫機械が圃場に入れるようになれば、盆明け17日から加工開始の予定。昨年より1週間遅い。  
(右)11日の実の状況。先端がまだ熟していない。天候が不安定であったため、列の乱れが多い。



(左)今年のいんげんは、生育期の低温と日照不足により草丈が低い。通常50～60cm程度だが、今年は40cm程度。豆が全体的に低い位置についており、地面ギリギリのものもある。収穫機械のセッティングは、土砂を掘り起こしてしまう可能性を避けるため、一定以上低くできない。結果圃場に残るものが発生し、反収低下を招いている。  
(右)収穫の様子。降雨後は車輪が埋まってしまったり、泥が付いて滑るため、畝に沿った運転が困難になる。



かぼちゃ(ケント)の圃場。葉に隠れて実の付き方の全体の様子はわからないが、ほぼ順調に生育している模様。  
ただ、圃場によっては今回の豪雨の影響が出る可能性がある。

(2015年7月末～8月12日撮影)